

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/10/12号

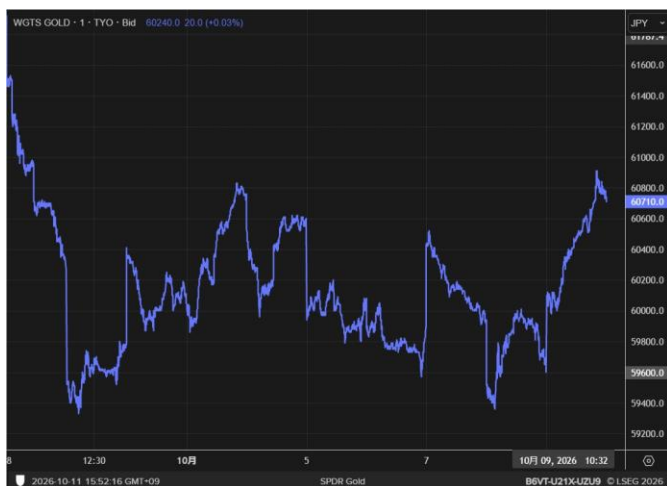
一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



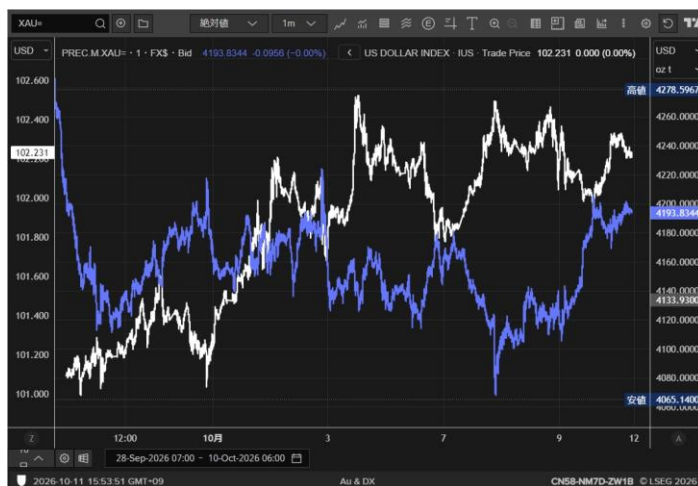
【ゴールドマーケットの現状】

ゴールド下値の固さを確認

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



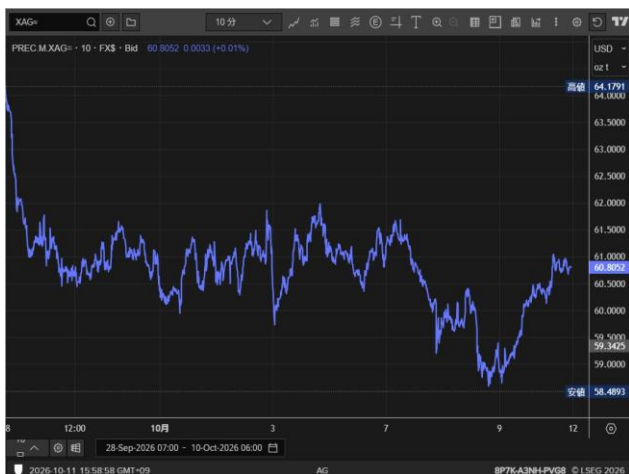
ゴールドは4100-4200ドルのレンジを抜けきれずにいます。先週はレンジの両端を試す動きがありました。まず7日夜のFOMC議事録。ほぼすべての理事が今年にもう一度の利上げを見込むというものであったため、おそらくAIの反応で4130ドルから瞬間的に4065ドルまで急落しました。しかし、この下げがほんの一瞬であり、そのあとは基本的に上げ続け、週の最高値は金曜日に4207.35ドルをつけて、安値で4100ドル割れ、高値で4200ドル超えをしましたが、終値は4194ドルとレンジに戻して終わりました。先週はしっかりしたのは4100ドル割れは非常に簡単に買われてしまうこと。おそらく中央銀行のような買い手が並んでいることが容易に想像できます。これだけ米国長期金利が上昇しても（先週の高値は5.35%を超えました。）ゴールドの下値は固く、上値が4200ドルで抑えられています。おそらく遅かれ早かれ4200ドルを超えて上に伸びていくものと思います。下がるとすればもうとっくに下がっているはずだからです。下値抵抗は相当強いと言えるでしょう。中国人民銀行が発表した9月のゴールド買いは23トンとなり、2023年9月以来最大の数字となりました。今年はこれで103トンとなり、中国のゴールド準備は2410トンとなりました。現在中国は世界5位の保有量ですが、このペースでいくと今年中にフランスの2452トン、イタリアの2437トンを超えて米国そしてドイツに次ぐ第三位になる可能性も十分にあります。ゴールド下落を利用して非常に積極的にディップを買っているのが中国です。長期金利を材料にゴールドを積極的に売っているのは、短期的投資家です。CMEの投資家ポジションをみると9月に入ってから長期金利の上げに呼応して、投資家のロングが大きく減少しているのがよくわかります。一方ゴールドETFの残高は漸増しています。短期筋の先物売りで下がったゴールド現物（ETF）を積極的に買っている長期投資家だと言えます。まさに中国人民銀行と同じ動き。この長期金利のレベルでゴールドが下がらないとすれば、結局は4200ドルを超えてゴールドは上げていくのではないのでしょうか。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

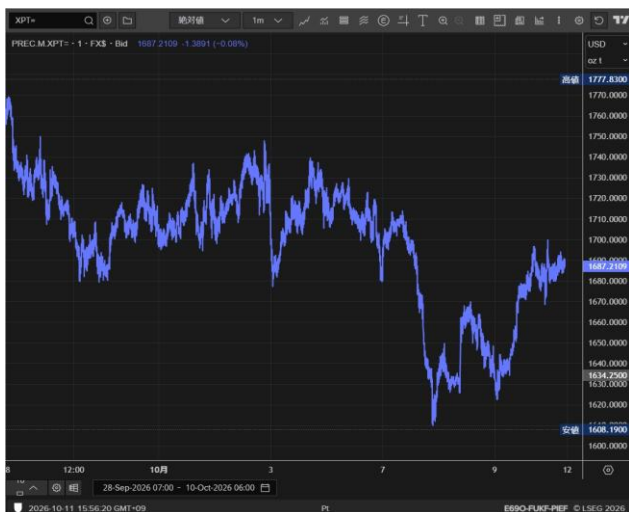
「シルバーの現状」

シルバーも相変わらず頭が重たい展開です。60ドルが底値になっていますが、そこから大きく戻す動きはみられませんでした。しばらくはこんな展開が続きそうです。ゴールドと同じく60ドルを割り込めば長期的な安値を拾うという感じでしょうか。



「プラチナの現状」

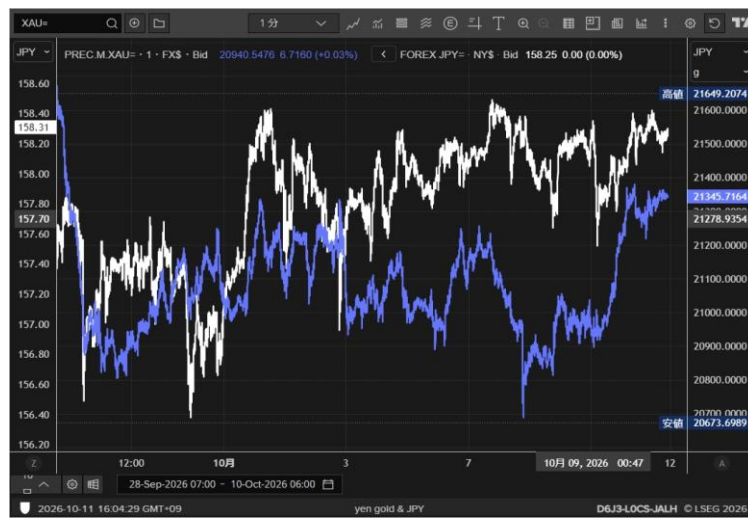
ゴールドの4100ドル、シルバーの60ドル、と同じようなプラチナの価格が1700ドルかもしれません。こちらも金利高でしばらくは頭が重たい展開が続きそうです。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで